

2024 年度 4 月入学 東京農業大学大学院 学生募集要項

農学研究科／応用生物科学研究科／生命科学研究科

／ 地域環境科学研究科／国際食料農業科学研究科

研究科目的	2
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 入試制度	12
2. 入学試験日程	12
3. 入学定員・募集人員	13
4. 出願資格	14
5. 出願手続	16
6. 選抜方法及び試験科目	18
7. TOEIC スコアの導入について	21
8. 試験時間・会場	22
<各入試制度の共通事項>	
9. 合格発表	22
10. 入学手続	22
11. 学費	24
12. 大学院奨学生制度	26
13. 長期履修制度	27
14. 出願資格認定	27
15. 個人情報保護について	28

※新型コロナウィルスの影響等により、試験日程・内容等に変更が生じた場合は、東京農業大学ホームページ「お知らせ」にて掲載いたします。

出願にあたっての重要事項

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず希望指導（准）教授と面談し、今後の研究計画及び研究内容について相談をしてください。各教員のメールアドレスについては以下を確認してください。

出願にあたって <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/application/>

研究科目的 (大学院学則より抜粋)

【農学研究科】

本大学院農学研究科は、国内外の農学諸分野におけるフロンティアとして、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者及び高度専門技術者的人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物資源、生命科学、環境科学、健康科学並びに経営・経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【応用生物科学研究科】

本大学院応用生物科学研究科は、人と環境が調和する生活を多元的に支える応用生物科学領域における高度な知識・技術・研究能力を身に付けた人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物生産・生物資源利用から食料・健康・環境・エネルギーといった広域の農学分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【生命科学研究科】

本大学院生命科学研究科は、生命科学の学問領域において、その基本的な能力を身につけた人材が、微生物から高等生物に至るまで分子レベルでの機能解析や生物機能を制御する分子の創製などにおいて、より専門的な知識、技術、思考力を備えることで、地球規模での持続的な成長を実現するための問題解決に対応することが可能な能力を習得させることを目的とする。

【地域環境科学研究科】

本大学院地域環境科学研究科は、身近な地域から地球規模に至るまでの地域環境に関する諸問題における高度な理解力と課題解決のための専門知識、ならびに調和のとれた地域環境を構築するための生物資源の保全・利用・管理に関する専門知識と専門技術、さらに取り扱う諸問題の社会的意義を自覚し、責任感を持って課題解決にあたることが出来る高度な倫理観と使命感を習得させることを教育研究上の目的とする。

【国際食料農業科学研究科】

本大学院国際食料農業科学研究科は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学および経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組む柔軟な判断力と分析能力および国際的視野に立った社会貢献の遂行能力を修得させることを目的とする。

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

【大学院】

東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。

【博士前期課程】

- (1) 希望する専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 希望する専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

- (1) 希望する専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者・教育者あるいは高度な専門家として、国際的にも社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

☆厚木キャンパス

【農学研究科】

農学研究科博士前期課程・修士課程は、農学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めていきます。

- (1) 農学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

農学研究科博士後期課程は、農学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めていきます。

- (1) 希望する専攻分野にかかる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域あるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【農学専攻】

〔博士前期課程〕

農学専攻博士前期課程は、作物、育種、植物病理、園芸作物、農業環境、ポストハーベストなどの農学全般に関する基礎学力を有し、明確な目的意識と探求心をもって研究を進めようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 農学全般にかかる学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 周囲との協調性を保つコミュニケーション能力とともに、研究室内での指導性を発揮できる能力を有している。
- (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは専門技術者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

農学専攻博士後期課程は、農学に関する専門的な学識と基礎的な研究能力を有し、将来、農学における専門職業人・研究者として活躍し、地域社会や国際社会に貢献しようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 農学全般および各専門分野にかかる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施、成果を発信できる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【動物科学専攻】

〔博士前期課程〕

動物科学専攻博士前期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、基礎的問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 畜産・動物科学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関する高次元な知識・技能の獲得に関する強い意欲がある。
- (3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。

(4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。

〔博士後期課程〕

動物科学専攻博士後期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、様々な問題に対して高度な解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

(1) 畜産・動物科学分野にかかる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。

(2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関するより高次元な専門的知識・技能を獲得し、国際的に活躍することに関する強い意欲がある。

(3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。

(4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。

【生物資源開発学専攻】

〔博士前期課程〕

生物資源開発学専攻博士前期課程では、生物多様性と生物資源の保全および利活用に興味を持ち、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めている。

(1) 生物資源開発学分野における学修が可能な四年制大学程度の学力を有している。

(2) 生物資源開発学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。

(3) 専門的な学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。

(4) 生物多様性や生物資源に関心を持ち、その保全・管理および開発に関わる様々な課題の解明に取り組む高い意欲がある。

〔博士後期課程〕※2024年4月開設予定

生物資源開発学専攻博士後期課程では、生物多様性と生物資源の保全および利活用に興味を持ち、未来に安心して託せる地球環境の保全と持続可能な社会づくりに貢献する高度な人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

(1) 生物資源開発学分野における学修が可能な修士課程または博士前期課程修了程度の学力を有している。

(2) 生物資源開発学分野における学修や研究活動を可能にする語学力を有している。

(3) 専門的な学修や研究活動を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。

(4) 生物多様性や生物資源に関心を持ち、その保全・管理および開発に関わる様々な課題の解明に取り組み、かつ国際的に活躍できる高い意欲を有している。

【デザイン農学専攻】

〔博士前期課程〕

デザイン農学専攻博士前期課程では、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備える人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

(1) デザイン農学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。

(2) 国内学におけるデザイン農学分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。

(3) デザイン農学分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。

(4) デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に高い意欲がある。

☆世田谷キャンパス

〔応用生物科学研究科〕

応用生物科学研究科博士前期課程は、応用生物科学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

(1) 応用生物科学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。

- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

応用生物科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした応用生物科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めていきます。

- (1) 希望する専攻分野にかかる大学院博士前期課程・修士課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域あるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【農芸化学専攻】

〔博士前期課程〕

農芸化学専攻博士前期課程では、研究課題を多面的に捉え、新たな発想を積極的に研究に取り入れることにより、人類の生活にかかる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 農芸化学の諸分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 農芸化学の諸分野に対する強い関心を持ち、食・健康・環境に関わる様々な現象の解明にチャレンジする高い意欲がある。

〔博士後期課程〕

農芸化学専攻博士後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 農芸化学の諸分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 食・健康・環境に関わる研究を推進できる知識と技術を有している。
- (3) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる語学力を有している。
- (4) 研究者や高度専門職業人としての活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (5) 農芸化学の諸分野における研究者や高度専門職業人としてリーダーシップを発揮し、独創的な発想と問題解決に取り組む意欲がある。

【醸造学専攻】

〔博士前期課程〕

醸造学専攻博士前期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味を有している。
- (2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の発展に専門職業人として貢献する意欲を有している。
- (3) 醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、及び醸造環境科学などの専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。

〔博士後期課程〕

醸造学専攻博士後期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、研究者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味がある。

- (2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の分野に研究者として携わることを志している。
- (3) 酿造学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓にチャレンジする意欲がある。

【食品安全健康学専攻】

〔博士前期課程〕

食品安全健康学専攻博士前期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして指導的立場で社会に貢献したいとする強い意志をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが主体となり解決したいという強い意欲を有している。
- (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、得られた成果を社会に向けて発信し、貢献したいという意欲を有している。
- (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断することができる。

〔博士後期課程〕

食品安全健康学専攻博士後期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして高度に指導的な立場で社会に貢献したいとする強い意志と国際的な視野をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが課題を発見し、主体となって解決したいという強い意欲を有している。
- (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、国際社会に貢献したいという意欲を有している。
- (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断し、国際的な場で発表する素養がある。

【食品栄養学専攻】

〔博士前期課程〕

食品栄養学専攻博士前期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し、社会で活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 管理栄養士の有資格者に加え、食品学や栄養学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。
- (2) 人の健康づくりにかかわる食品の研究、健常者・傷病者の食生活や栄養状態の改善に関する研究に強い意欲がある。
- (3) 研究や行政、教育、医療分野などで高度な専門職業人として貢献する志を有している。
- (4) 豊かな人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を有している。

〔博士後期課程〕

食品栄養学専攻博士後期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を獲得し、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、広く国内外でリーダーとして活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 食品学や栄養学分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 問題設定および問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲がある。
- (3) 国内外に研究成果を発信できる語学力を有し、社会に貢献しようとする強い意欲がある。
- (4) 高度な専門家として活躍しうるコミュニケーション能力を有している。

【生命科学研究科】

生命科学研究科博士前期課程は、生命科学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めてています。

- (1) 生命科学の当該専攻分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 既修の知識をもとに、さらに専門性を深めようとする強い意欲を有している。
- (3) 繼続的に自ら問題を見つけ出し、その解決に貢献しようとする意欲を有している。
- (4) 広い視野、豊かな人間力、倫理観、コミュニケーション力を持ち、他と協力してそれを高めようとする意欲を有している。

生命科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした生命科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 希望する専攻分野にかかる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。
- (3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 研究者、教育者など高度専門職者として地域あるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【バイオサイエンス専攻】

〔博士前期課程〕

バイオサイエンス専攻博士前期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、生命科学分野における基礎的問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 生命科学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

バイオサイエンス専攻博士後期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、生命科学分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野にかかる修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。
- (3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 生命科学分野における研究者、教育者など高度専門職者としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【分子生命化学専攻】

〔博士前期課程〕

分子生命化学専攻博士前期課程は、様々な現象に対する論理性・客觀性に基づいた科学的判断が可能であり、倫理観に裏付けられた研究意欲を持ち、農学・生命科学領域における問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 化学を中心とする伝統的科学に興味と学習意欲があり、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

分子生命化学専攻博士後期課程は、化学の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、分子生命化学分野における高度な問題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めてています。

- (1) 分子生命化学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる基礎的な語学力を有している。
- (3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 分子生命化学分野における研究者、教育者あるいは高度な専門家としてリーダーシップを發揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。

【分子微生物学専攻】

〔博士前期課程〕

分子微生物学専攻博士前期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

分子微生物学専攻博士後期課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 生命科学分野における学修が可能な大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

【地域環境科学研究科】

地域環境科学研究科博士前期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する幅広い知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法を考究できる、また持続可能な地域づくりを推進できる高度専門人材の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する4年制大学卒業程度の知識を有している。
- (2) 環境に関する諸問題の解決に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。
- (3) 問題解決に向けて自らチャレンジする意欲を有している。
- (4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している

地域環境科学研究科博士後期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する高度専門知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法に関して、また持続可能な地域づくりの推進に関する高度専門研究者の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識を有している。
- (2) 環境に関する諸問題の研究に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。
- (3) 研究に自らチャレンジする意欲を有している。
- (4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。

【林学専攻】

〔博士前期課程〕

林学専攻博士前期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 森林、林学、林産学、農山村に関する専門領域において、4年制大学卒業程度の基礎的な学力を有している。
- (2) 森林の保全と多面的機能の高度利用、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有している。

【博士後期課程】

林学専攻博士後期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 林学、林産学などを基礎とし、森林資源保全学、森林環境工学、森林資源利用学、森林社会科学などの専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな知識と研究能力を有している。
- (2) 生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有している。

【農業工学専攻】

【博士前期課程】

農業工学専攻博士前期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に興味を有している。
- (2) 農業工学の専門領域において、4年制大学卒業程度の基礎的な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に技術者として貢献したいという強い意欲を有している。
- (3) 地域資源利用学、生産環境・計画学、施設工学、農業生産システム工学における専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。

【博士後期課程】

農業工学専攻博士後期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、研究者または高度な技術者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に深い興味を有している。
- (2) 農業工学の専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の高度な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に、研究者として、また高度な技術者として、貢献したいという強い意欲を有している。
- (3) 農業工学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓に挑戦する意欲を有している。

【造園学専攻】

【博士前期課程】

造園学専攻博士前期課程は、造園学に対する興味と意欲を有し、都市から自然地域における快適環境をもたらすための知識と課題解決能力をもって研究を推進できる人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 造園学関連分野の学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や、研究活動を実施する上での基本的な語学・文章・表現力を有している。
- (3) 協調性やコミュニケーション能力を有するとともに、研究環境でのリーダー性を発揮できる能力を有している。
- (4) 研究者、教育者、技術者として豊かな地域社会と社会資本の形成に貢献しようとする明確な問題意識と、学修に対する強い意欲を有している。

【博士後期課程】

造園学専攻博士後期課程は、都市から自然地域においての快適環境をもたらすための課題解決能力や造園学に関する高度な学識と研究能力を有し、地域社会や国際社会において研究者、教育者、技術者として活躍、貢献、評価される人材を育成する。本専攻では次のような学生を求めている。

- (1) 造園学及び関係専門分野において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな学力を有し

ている。

- (2) 国内外において十分な研究活動を実施・展開し、その成果を広く社会に発信できる語学・文章・表現力を有している。
- (3) 研究者、教育者、高度な専門技術者として活躍し、良好な関係性を構築できるコミュニケーション能力を有している。
- (4) 造園学の専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と強い学修意欲を有している。

【地域創成科学専攻】

〔博士前期課程〕

地域創成科学専攻博士前期課程は、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するために、地域創成科学に関する専門知識と研究能力を身に付け、地域社会のリーダーとなる人材を育成する。そのため、本専攻では以下のような人材を求めている。

- (1) 自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、4年制大学卒業程度の基礎学力を有する者。
- (2) 農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有する者。

〔博士後期課程〕

地域創成科学専攻博士後期課程では、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するためには、地域創成科学に関する高度な専門的応用知識と研究能力を身に付け、地域社会が抱えるさまざまな課題を解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。

- (1) 自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、修士課程修了程度の基礎学力および研究能力を有している。
- (2) 農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【国際食料農業科学研究科】

国際食料農業科学研究科博士前期課程は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学及び経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組める国際的人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 食料農業科学とその国際的実践に関連した当該専攻分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として国際的視野に立って社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

国際食料農業科学研究科博士後期課程は、食料農業科学とその知見の現場への適応を通じて国際的視野に立った社会貢献に対する意義を理解し、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。

- (1) 食料・農業・環境領域の当該専攻分野における修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 当該専攻分野に関する研究に対する強い関心をもち、研究者、教育者あるいは専門家として研究成果を国内及び国際社会に還元し、貢献しようとする広い視野、明確な問題意識及び強い意欲を有している。

【国際農業開発学専攻】

〔博士前期課程〕

国際農業開発学専攻博士前期課程は、問題の解決を図るために論理的思考力と実践力、さらには異なる文化や習慣を理解し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる

高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めていきます。

- (1) 国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持っている。
- (2) 自然科学と社会科学の両領域にわたる基礎的な知識のレベル（4年制大学卒業程度）と、今後の知識修得への意欲を有している。
- (3) 異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している。
- (4) 国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。

【博士後期課程】

国際農業開発学専攻博士後期課程は、広範な学問領域を統合する総合的アプローチと実践的で国際的な視野を修得し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めていきます。

- (1) 国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持ち、未解決の問題の解決にリーダーシップを発揮して取り組むことに強い意欲を有している。
- (2) 自然科学と社会科学の両領域にわたる総合的な知識のレベル（修士課程又は専門職学位課程修了程度）と、今後の知識修得への意欲を有している。
- (3) 異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している。
- (4) 国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。

【農業経済学専攻】

【博士前期課程】

農業経済学専攻博士前期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 経済学に関する4年制大学卒業程度の基本的な学力を有している。
- (2) 専門領域における知識や研究方法の基本的な学力を有している。
- (3) 日本人は英語、外国人は日本語の基本的な語学力を有している。
- (4) 食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【博士後期課程】

農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識や研究方法を修得している。
- (2) 第二言語として英語または日本語のより高度な運用能力を有している。
- (3) 研究資料を得るためのコミュニケーション能力を有するとともに、それらを緻密に整理できる能力を有している。
- (4) 食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって率先して問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。

【国際アグリビジネス学専攻】

【博士前期課程】

国際アグリビジネス学専攻博士前期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 一定の語学力と国内外のアグリビジネスに対する基礎知識を有している（4年制大学卒業程度）。
- (2) アグリビジネスの持続的発展への貢献に強い意欲を有している。
- (3) 国際的なコミュニケーション能力の向上を目指している。

〔博士後期課程〕

国際アグリビジネス学専攻博士後期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における複雑な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 一定の語学力とアグリビジネス学にかかる基礎理論及び基本的研究手法を修得している（修士課程又は専門職学位課程修了程度）。
- (2) 新たな理論の開発やフィールド研究に取り組む意欲を有している。
- (3) アグリビジネス学においてグローバルな貢献を目指している。

【国際食農科学専攻】

〔博士前期課程〕

国際食農科学専攻博士前期課程は、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めていきます。

- (1) 国際食農科学の当該分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。
- (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。
- (4) 国際食農科学の発展への貢献に強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

〔博士後期課程〕

国際食農科学専攻博士後期課程では、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における困難な問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めていきます。

- (1) 国際食農科学の当該分野における学修が可能な大学院修士課程修了程度の学力を有している。
- (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする高い語学力を有している。
- (3) 高度な学びと人間関係の構築を可能にする高いコミュニケーション能力を有している。
- (4) 国際食農科学の発展への貢献に強い意欲を持ち、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする専門性の高い問題意識と学修に対する強い意欲を有している。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

東京農業大学大学院のディプロマ・ポリシーについては本学大学院ホームページ
(<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/>) の「大学院について」→「教育研究上の目的・目標ならびに3方針」から、必ず確認してください。

1. 入試制度（4月入学）

【一般入試】 2024年度1期入試 ／ 2024年度2期入試

【特別入試】 2024年度国際協力経験者入試 ／ 2024年度社会人特別選抜入試（1期、2期）

2. 入学試験日程

（1）一般入試及び社会人特別選抜入試

入学時期	検定料振込期間		出願書類提出期間	入学試験日	合格発表	入学手続期間
2024年 4月入学	1 期	2023年 6月1日（木） ～8日（木）	2023年 6月6日（火）～8日（木） 最終日必着	2023年 7月8日（土）	2023年 7月14日（金）	2024年 3月1日（金） ～5日（火） 最終日必着
	2 期	2023年 12月4日（月） ～14日（木）	2023年 12月12日（火）～14日（木） 最終日必着	2024年 1月20日（土）	2024年 1月26日（金）	

・上記各期間の窓口受付は、9:00～17:00とする。

（2）国際協力経験者入試

入学時期	検定料振込期間	出願書類提出期間	入学試験日	合格発表	入学手続期間
2024年 4月入学	2023年 12月4日（月） ～14日（木）	2023年 12月12日（火）～14日（木） 最終日必着	2024年 1月20日（土）	2024年 1月26日（金）	2024年 3月1日（金） ～5日（火）最終日必着

◎出願資格認定についてはp.27「出願資格認定」を確認してください。

・上記各期間の窓口受付は、9:00～17:00とする。

3. 入学定員・募集人員

課程	研究科	専攻	入学定員	一般入試募集人員		特別入試募集人員	
				1期	2期	国際協力	社会人
博士前期課程	農学	農学専攻	14名	12名	2名	－	若干名
		動物科学専攻	12名	11名	1名	－	
		生物資源開発学専攻	10名	8名	2名	－	
		デザイン農学専攻	8名	6名	2名	若干名	
	応用生物科学	農芸化学専攻	30名	27名	3名	－	
		醸造学専攻	20名	18名	2名	－	
		食品安全健康学専攻	20名	14名	6名	－	
		食品栄養学専攻	6名	5名	1名	－	
	生命科学	バイオサイエンス専攻	30名	27名	3名	－	
		分子生命化学専攻	20名	18名	2名	－	
		分子微生物学専攻	20名	18名	2名	－	
	地域環境科学	林学専攻	8名	7名	1名	－	
		農業工学専攻	8名	7名	1名	若干名	
		造園学専攻	10名	9名	1名	－	
		地域創成科学専攻	6名	5名	1名	－	
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	18名	16名	2名	若干名	
		農業経済学専攻	8名	7名	1名	若干名	
		国際アグリビジネス学専攻	10名	9名	1名	若干名	
		国際食農科学専攻	7名	6名	1名	－	

博士後期課程	農学	農学専攻	5名	4名	1名	若干名
		動物科学専攻	4名	3名	1名	
		生物資源開発学専攻※	2名	1名	1名	
	応用生物科学	農芸化学専攻	5名	4名	1名	
		醸造学専攻	2名	1名	1名	
		食品安全健康学専攻	3名	2名	1名	
		食品栄養学専攻	2名	1名	1名	
	生命科学	バイオサイエンス専攻	5名	4名	1名	
		分子生命化学専攻	3名	2名	1名	
		分子微生物学専攻	3名	2名	1名	
	地域環境科学	林学専攻	2名	1名	1名	
		農業工学専攻	2名	1名	1名	
		造園学専攻	2名	1名	1名	
		地域創成科学専攻 ※	2名	1名	1名	
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	2名	1名	1名	
		農業経済学専攻	2名	1名	1名	
		国際アグリビジネス学専攻	2名	1名	1名	
		国際食農科学専攻	2名	1名	1名	

※2024年4月開設予定

4. 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかの資格を有するもの。又は、2024年3月までに学位取得見込の者。

【博士前期課程】

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
- ※(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- ※(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

※(11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
 - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
- ※(6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

※に該当する場合は、出願前に出願資格認定試験を受ける必要があります。詳細はp. 27を参照してください。

(2) 国際協力経験者入試

募集専攻	出願資格
デザイン農学専攻 農業工学専攻、 国際農業開発学専攻、 農業経済学専攻、 国際アグリビジネス学専攻	一般入試博士前期課程の出願資格を有する者のうち以下のすべての条件を満たす者 (1) 2年以上の国際協力経験を有する者 (2) 出願前に指導（准）教授（予定者）と研究課題について打ち合わせること (3) 職にある者は、入学後は、休職又は退職をし、学業に専念できること (4) 日本国籍を有すること

(3) 社会人特別選抜入試

一般入試博士前期課程又は博士後期課程の出願資格を有する者のうち、原則3年間の職業歴（社会人経験）があるもの。

5. 出願手続

出願書類は、市販の角型2号（240×332ミリ）封筒に入れ、出願用封筒貼付ラベル*を貼付して、**簡易書留郵便・速達**で郵送（最終日必着）、もしくは世田谷キャンパスの研究科は学務課、厚木キャンパスの研究科は学生教務課窓口へ提出してください。出願手続き完了後、受験票及び試験会場の案内を受験者に配付します。検定料の支払い、書類提出のいずれか一方でも出願期間を過ぎたり不備があったりする場合は受けできません。また、出願手続後はいかなる事情があっても書類の変更はできません。なお、いったん納入された検定料の払戻しは行いません。

	出願書類	一般入試	特別入試		備考
			国際協力	社会人	
1	出願書類確認票（様式1）*	○	○	○	
2	入学志願票（1/2）、（2/2） (様式2-1、様式2-2) *	○	○	○	様式2-1、様式2-2のどちらも提出すること。
3	履歴書（様式3）*	○	○	○	学歴欄は高校以上。本学の卒業/修了（見込）者以外の外国人志願者は、小学校相当以上。
4	入学志願者調書（様式4）*	○	○	○	希望する指導（准）教授の確認印がない場合は受験不可。海外居住者は、希望指導（准）教授から送付された受入れ許諾に関するメール文面等の印刷物を、確認印の代わりとして提出することも可。
5	卒業・修了（見込）証明書	○	○	○	日本語又は英語。原本。
6	成績証明書	○	○	○	日本語又は英語であり、願書受付日前3ヵ月以内に発行された原本。
7	検定料振込用紙/受験票 (A票：提出用)（様式5）*	○	○	○	金融機関窓口(ATM)またはインターネットバンキングにて入学検定料30,000円を指定口座に振り込んでください（振込手数料は受験者負担）。 ※振込依頼人名は、受験者名で振り込んでください。 ※振込完了が確認できるものを貼付してください。
8	返信用封筒（受験票送付用）	○	○	○	市販の長形3号（120×235ミリ）に84円分の切手を貼り、 <u>日本国内</u> の確実に届く住所を記載してください。
9	研究計画書（様式6）*	—	○	○	
10	研究業績書（様式7）*	—	—	△	社会人特別選抜入試博士後期課程志願者のみ。
11	推薦書（様式8）*	—	○	—	国際協力活動期間中に上司だった人物（青年海外協力の場合は活動期間中のJICA現地事務所職員で本人をよく知る人物）によるものとする。
12	大学院出願資格認定書のコピー	△	△	△	出願資格認定試験を受けた者のみ。
13	学歴認証報告書（英語版）	△	△	△	中華人民共和国の教育機関出身の者のみ。
14	パスポートコピー貼付書 (様式9) *	△	—	△	外国人志願者のみ。顔写真のページのコピーを貼付。
15	日本語能力に関する証明書のコピー ※必須ではない	△	—	△	外国人志願者のみ。日本語能力試験認定書、日本語学校等が証明する日本語の学力証明書等。

○印は必須、△印は該当者のみ

*本学所定様式（以下からダウンロード・A4片面印刷）

募集要項・出願様式 <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form>

外国の大学の証明書を提出する場合の注意事項

(1) 外国における出身学校（出願資格最終学歴）が発行したもので、レターヘッド（用紙の上部に学校名、住所、電話番号）のある専用用紙に次の内容が記載されたもの（成績証明書は入学時から最近までの成績が記載されているもの）。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1) 氏名（パスポートと同一のもの） | 4) 卒業（修了）年月* |
| 2) 生年月日*（パスポートと同一のもの） | 5) 取得学位名 |
| 3) 入学年月* | 6) 証明書発行日* |

*西暦で記載のこと

(2) 各種証明書は日本語又は英語のもののみ受け付けます。その他の言語で作成されている場合、英語又は日本語に翻訳のうえ、公的機関等（出身学校・大使館等）で原本と相違ない旨の証明を受けてください。また、インターネットを経由して入手した証明書やカラーコピーで印刷されたものは原則として受理しません。

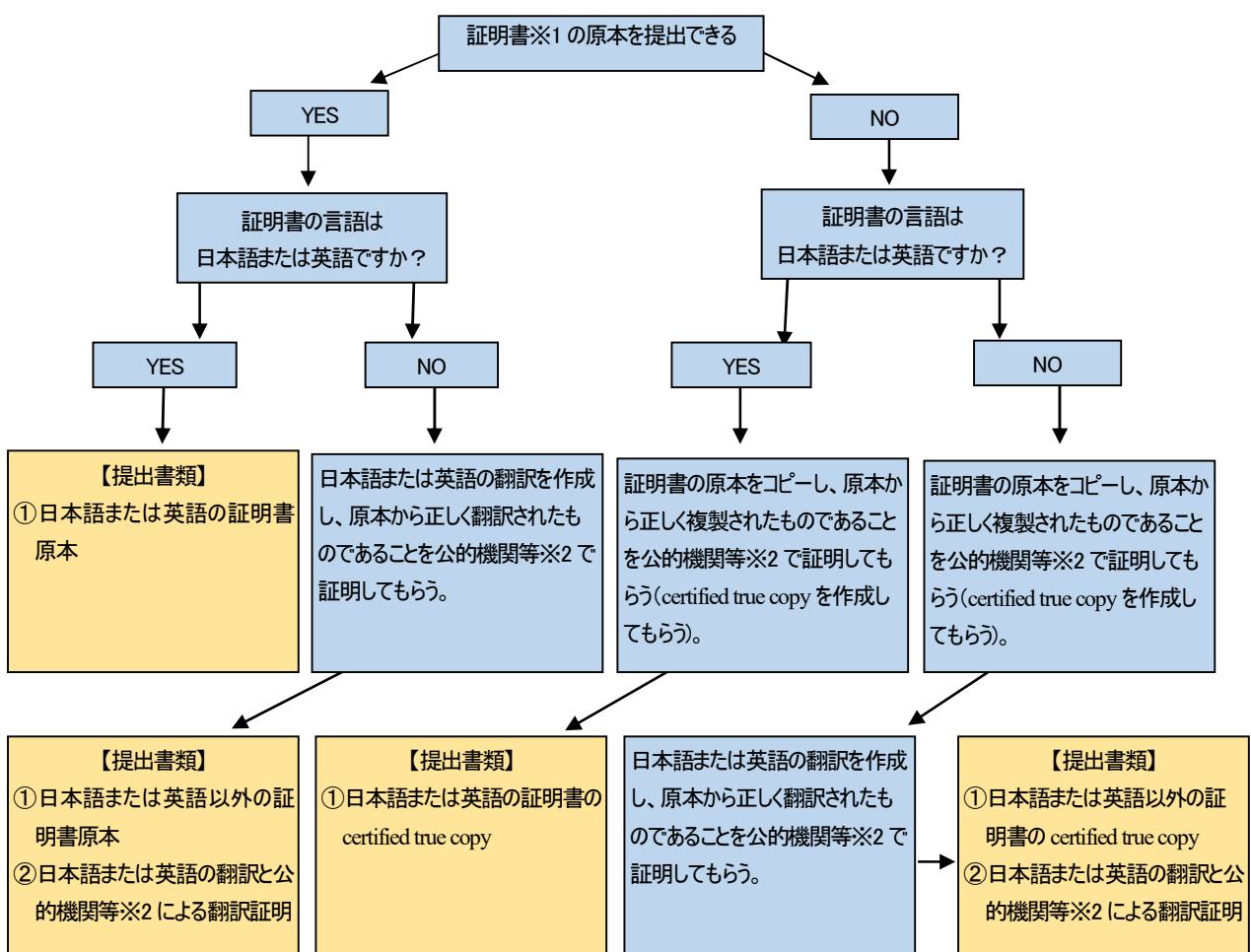
(3) 原本が提出できない場合、公的機関等※2で certified true copy を作成してもらい、提出してください。

(4) 1つの書類が2枚以上になる場合は、発行元において結合されているか、すべてに氏名と公印が必要になります。

(5) 中華人民共和国の教育機関出身の場合は、学歴認証報告書（英語版）も提出してください。

*卒業証明書・成績証明書の認証手続き：on-line で発行されたものは不可

中国学暦・学籍認証センター（CHSI）日本代理機構 <http://www.chsi.jp>（日本語）



※1 証明書及び証書含む

※2 『公的機関等』とは、大使館や出身学校、CHSI 等を含む。

6. 選抜方法及び試験科目

入試制度	選抜方法
一般入試	筆記試験（下記の「★一般入試筆記試験科目表」を参照）、口述試験、出身学校の成績等により選抜。
国際協力経験者入試	書類選考（研究計画書、推薦書）・筆記試験（外国语※1）・口頭試験（研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等）により選抜。
社会人特別選抜入試	<p>【博士前期課程】</p> <p>書類選考（研究計画書）、口述試験（研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等）により選抜。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>書類選考（研究業績書及び研究計画書）、口述試験（研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等）により選抜。</p>

★一般入試筆記試験科目表（筆記試験の他、口述試験を実施）

博士前期課程

専攻	外国语※1	専門科目	
		必修科目	選択科目
農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
動物科学	英語 ※3 又は日本語から1科目を選択する。	—	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
生物資源開発学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
デザイン農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	生物機能開発学、食資源利用学、食機能科学、生活デザイン農学、社会デザイン農学のうちから入学後の研究指導を希望する専門科目1科目を選択する。
農芸化学	英語	農芸化学基礎（生物化学、無機化学、有機化学の各科目の基礎を問う内容）	—
醸造学	英語	生物化学（微生物に関すること）	—
食品安全健康学	英語	生物化学（分子生物学・有機化学・分析化学の内容を含む）	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	—	食品生化学、フードシステム管理学、調理科学、栄養生物学、保健栄養学、臨床栄養学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。
バイオサイエンス	TOEIC スコアの提出 ※4	分子生物学	—
分子生命化学	TOEIC スコアの提出 ※4	—	分子設計学、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、分析化学、生命高分子化学のうちから2科目を選択する。
分子微生物学	TOEIC スコアの提出 ※4	分子微生物学（微生物学、生物化学、分子生物学）	—
林学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—	森林生態学、治山綠化工学、造林学、林業工学、森林経営学、森林政策学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する特論に関連した科目と他1科目を選択する。

農業工学	英語	—	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。
造園学	英語 ※3	—	造園計画・設計学(造園史含む)、造園植物・植栽学、造園施設材料・施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
地域創成科学	英語 ※3	—	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。
国際農業開発学	英語	—	熱帯作物学、熱帯園芸学、熱帯作物保護学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
農業経済学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する1科目を含む2科目を選択する。
国際アグリビジネス学	TOEICスコアの提出※4	農業経営学	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。
国際食農科学	英語	—	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。

博士後期課程

専攻	外国語※1	専門科目
農学	英語又は日本語から1科目を選択する。	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学、応用昆虫学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
動物科学	英語又は日本語から1科目を選択する。	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
生物資源開発 (2024年4月開設予定)	英語又は日本語から1科目を選択する。	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
農芸化学	英語	土壌肥料学、植物生産化学、栄養生化学、生物有機化学、応用微生物学、食料資源理化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
醸造学	英語	醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、醸造環境科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
食品安全健康学	英語	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	臨床栄養学、保健栄養学、栄養生理学、食品生化学、フードシステム管理学、調理科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
バイオサイエンス	TOEICスコアの提出※4	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。
分子生命化学	TOEICスコアの提出※4	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。

分子微生物学	TOEIC スコアの提出 ※4	資源生物工学、バイオインフォマティクス、動物共生微生物学、植物共生微生物学、複合微生物学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
林学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	森林生態学、治山緑化工学、造林学、林業工学、森林経営学、林政学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
農業工学	英語	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
造園学	英語	造園計画学、造園設計学、造園植物学、造園植栽学、造園施設材料学、造園施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
地域創成科学	英語 ※3	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。
国際農業開発学	英語	作物学、園芸学、植物病理学、応用昆虫学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。
農業経済学	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
国際アグリビジネス学	英語	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。
国際食農科学	英語	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

※3 英語の受験は、TOEIC スコアの提出をもって替えることができる。詳細については、「TOEIC スコアの導入について」P22 参照。

※4 入試当日に TOEIC スコアの証明書原本を持参してください。詳細については、「TOEIC スコアの導入について」P22 参照。

TOEICスコアの導入について

2023年10月入学及び2024年4月入学大学院入学試験より、一部の専攻で外国語試験に、TOEICスコア(Listening&Reading Testのスコア)を導入することになりました。TOEICスコアを導入する専攻を受験予定の方は、日程に余裕をもって準備を進めてください。

外国语試験にTOEICを導入する専攻

研究科	専攻	課程	外国语試験		公開テスト	TOEIC L&Rスコアの条件		その他(受験期間の制限の有無等)	
			①TOEIC L&Rスコアのみ	②TOEIC L&Rスコアもしくは筆記試験から選択		IPテスト			
			対面実施	オンライン実施		対面実施	オンライン実施		
農学研	動物科学専攻	博士前期課程		○	○	○	×	・過去4年間に受験したスコアが対象 ・オンライン受験のスコアは不可	
生命研	バイオサイエンス専攻	博士前期課程/博士後期課程	○		○	○	×		
	分子生命化学専攻		○		○	○	×	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る(複数ある場合、提出は最高スコアでよい) ・オンライン受験のスコアは不可	
	分子微生物学専攻		○		○	○	×		
地域研	造園学専攻	博士前期課程		○	○	○	×	・過去5年間に受験したスコアが対象 ・オンライン受験のスコアは不可	
	地域創成科学専攻	博士前期課程/博士後期課程		○	○	○	○	・受験した年の期間制限なし ・オンライン受験のスコアでも可	
国際研	国際アグリビジネス学専攻	博士前期課程	○		○	×	×	・受験した年の期間制限なし (複数ある場合、提出は最高スコアでよい) ・TOEIC IPテストは不可	

①TOEICスコアのみ…大学院入学試験当日にTOEICスコア証明書原本を提出することが必須になりますので、事前にTOEICを受験しておく必要があります。

②TOEICスコアもしくは筆記試験から選択…TOEICスコア証明書を提出をしない場合は、従前どおりの筆記試験を受験する必要があります。

上記以外の専攻は従前どおりの筆記試験を実施します。

Change in Foreign Language Examination for Graduate School Entrance Examinations

The Graduate School of Tokyo University of Agriculture has decided to introduce TOEIC scores(L&R (Listening & Reading) scores) in the foreign language examinations for some majors starting with the April 2024 Entrance. If you are plan to take the TOEIC exam for a major that will introduce TOEIC scores, please make sure to prepare well in advance.

Majors that introduce TOEIC in their graduate school foreign language examinations

Graduate School Course	Department	Course	Foreign language examination		TOEIC L&R score requirements			Other matters (Whether there is a time limit for taking the examination)	
			① TOEIC L&R score only	② TOEIC L&R score or Select from the written test	open test	IP test			
			Face-to-face implementation	On-line		Face-to-face implementation	On-line		
Agricultural Science	Animal Science	Master's Course		○	○	○	×	Scores taken in the last four years are eligible. Online examination scores are not acceptable.	
Life Science	Bioscience	Master's/Doctoral Programs	○		○	○	×	Only scores taken during and after university studies(if there are multiple scores, the highest score is acceptable for submission). Online examination scores are not acceptable.	
	Chemistry for Life Science and Agriculture		○		○	○	×		
	Molecular Microbiology		○		○	○	×		
Agro-Environmental Science	Landscape Architecture	Master's Course		○	○	○	×	Scores taken within the last five years are eligible. Online examination scores are not acceptable.	
	Rural Science	Master's/Doctoral Programs		○	○	○	○	No time limit for the year in which the test is taken. Online examination scores are acceptable.	
International Food and Agricultural Science	International Agribusiness Management	Master's Course	○		○	×	×	No time limit for the year in which the test was taken (if there is more than one test, the highest score is acceptable for submission). IP test are not acceptable.	

①TOEIC score only...You are going to be required to submit an original TOEIC score certificate on the day of the graduate school entrance examination, so you must take the TOEIC in advance.

②If you do not submit the TOEIC score certificate, you must take the written examination as before.

For majors other than those listed above, the written examination is going to be administered as before.

7. 試験時間・会場

試験当日は受験票を必ず持参してください。受験日の3日前になっても受験票が届かない場合は各キャンパスの担当窓口に連絡してください。

(1) 試験時間(予定)

試験開始(口述試験は集合時間)後、30分以内に指定の会場に入室できない場合、それ以降の試験は原則受験できません。

入試制度	集合時間等※
一般入試 国際協力経験者入試	集合時間：9時30分(試験会場は9時開場) 試験開始時間：10時
社会人特別選抜入試	試験時間・会場等の詳細は、受験票郵送時の案内を確認してください。

※時間は変更する場合がありますので、必ず受験票郵送時の案内を確認してください。

(2) 試験会場

厚木キャンパス 神奈川県厚木市船子1737(農学研究科)

世田谷キャンパス 東京都世田谷区桜丘1-1-1(農学研究科以外の研究科)

＜各入試制度の共通事項＞

8. 合格発表 東京農業大学大学院ホームページに掲載します。

(1) 発表日程

合格発表日については入学試験日程を確認してください。

(2) 合格通知及び入学手続き書類について

出願書類確認票に記載された送付先へ郵送します。

	合格通知	入学手続き書類
1期合格者	7月21日(金)以降 普通郵便で郵送	2月上旬 レターパックで郵送
2期合格者		2月上旬 レターパックで郵送

9. 入学手続

(1) 入学手続期間 2024年3月1日(金)～3月5日(火)最終日必着

※期間中に学費納入、書類提出がない場合は、入学を許可しません。

※郵送の場合は、簡易書留・速達で送付してください(最終日必着)。

※窓口受付時間は9時から17時までです。

(2) 学費の納入期間 2024年2月20日(火)～3月5日(火)

(3) 入学手続提出書類

入学手続書類は、入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、郵送もしくは担当窓口へ提出してください。

- ①入学手続書類確認票
- ②誓約書
- ③新入生個人調査票
- ④学生証用写真貼付用紙
- ⑤銀行の領収印のある入学金等振込金連絡票
- ⑥本籍地記載の住民票、又は戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)

※外国人の場合は国籍、在留資格及び在留期間が記載された住民票。

※手続期限から 3 カ月以内に発行されたもの。

⑦卒業（修了）証明書（本学の卒業・修了（見込）生、及び出願時に提出済の方は必要ありません）

（4）入学辞退について

入学を辞退する場合は学務課又は厚木学生教務課に申し出のうえ、「入学辞退届」を期限までに提出してください。

入学辞退届提出期限：3月5日（火）

また、入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還しますので、学務課又は厚木学生教務課に申し出のうえ「入学金を除く納付金返還請求書」を **3月15日（金）17時（必着）までに**提出してください。なお、やむを得ず期日を過ぎる場合は、3月29日（金）12時を最終期限とします。

10. 学費 (2024年度4月入学生納付金)

大学院奨学生制度については次項を参照してください。

研究科	課程	専攻名	大 学 納 付 金					その他の諸会費	総 計
			入学金	授業料	実験実習演習費	整備拡充費	学生厚生費		
農学	博士前期	農学専攻	270,000	660,000	289,000	210,000	20,600	20,000	1,469,600
		動物科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		生物資源開発学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		デザイン農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	農学専攻	270,000	760,000	318,000	210,000	20,600	20,000	1,598,600
		動物科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		生物資源開発学専攻 ※	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
応用生物科学	博士前期	農芸化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		醸造学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品安全健康学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品栄養学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	農芸化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		醸造学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品安全健康学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品栄養学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
生命科学	博士前期	バイオサイエンス専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子生命化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子微生物学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
	博士後期	バイオサイエンス専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子生命化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子微生物学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
地域環境科学	博士前期	林学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		農業工学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		造園学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		地域創成科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	林学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		農業工学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		造園学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		地域創成科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
国際食料農業科学	博士前期	国際農業開発学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		農業経済学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際アグリビジネス専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際食農科学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
	博士後期	国際農業開発学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		農業経済学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際アグリビジネス専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際食農科学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600

備考 ※2024年4月開設予定

1. 大学納付金の消費税は非課税。

2. その他の諸会費の内訳は、(1) 農友会費1万円、(2) 教育後援会費1万円。

【参考】2024年度入学生の次年次以降、納付する学費等について（予定）

(博士前期課程は引き続き博士後期課程に進学した場合を含む)

研究科	課程	専攻名	2025年度			2026年度			2027年度			2028年度				
			年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	年次	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費		
農学	博士前期	農学専攻	2	710,000	318,000	190,000	1	760,000	318,000	190,000	2	810,000	318,000	190,000		
		動物科学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
		生物資源開発学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
		デザイン農学専攻		710,000	320,000	190,000										
	博士後期	農学専攻	3	810,000	318,000	190,000	3	860,000	318,000	190,000						
		動物科学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
		生物資源開発学専攻※		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
応用生物学	博士前期	農芸化学専攻	2	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	
		醸造学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
		食品安全健康学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
		食品栄養学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
	博士後期	農芸化学専攻	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000						
		醸造学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
		食品安全健康学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
		食品栄養学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
生命科学	博士前期	バイオサイエンス専攻	2	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	
		分子生命化学専攻		710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		
		分子微生物学専攻		710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		
	博士後期	バイオサイエンス専攻	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000						
		分子生命化学専攻		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000						
		分子微生物学専攻		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000						
地域環境科学	博士前期	林学専攻	2	710,000	320,000	190,000	1	760,000	320,000	190,000	2	810,000	320,000	190,000	3	
		農業工学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
		造園学専攻		710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		
		地域創成科学専攻		710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		
	博士後期	林学専攻	2	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000						
		農業工学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
		造園学専攻		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000						
		地域創成科学専攻		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000						
国際食料農業科学	博士前期	国際農業開発学専攻	2	710,000	280,000	190,000	1	760,000	280,000	190,000	2	810,000	280,000	190,000	3	
		農業経済学専攻		710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		
		国際アグリビジネス専攻		710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		
		国際食農科学専攻		710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		
	博士後期	国際農業開発学専攻	2	810,000	280,000	190,000	3	860,000	280,000	190,000						
		農業経済学専攻		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000						
		国際アグリビジネス専攻		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000						
		国際食農科学専攻		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000						

備考 ※2024年4月開設予定

1. 本大学院博士前期課程から博士後期課程へ継続して進学する場合、①入学金不要、②整備拡充費は博士前期課程2年次と同額
2. 2年次以降の学生厚生費及びその他の諸会費は入学年次の金額と同額
3. 留年生（原級、復学を含む）の授業料、実験実習演習費は、その在籍する該当年次生の入学時に定められた金額を適用する。

11. 大学院奨学生制度

本大学院には人物、学業ともに優秀な学生に対し、経済援助を行うことにより、学術研究の奨励と有為な人材育成に資することを目的に大学院奨学生規程が制定されています。

大学院奨学生規程の概略は次のとおりです。

◎東京農業大学大学院奨学生

(1) 第一種奨学生

- ①博士前期課程及び博士後期課程在籍者を対象とします。
- ②奨学生額は授業料の2分の1及び整備拡充費の2分の1でその相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学生支給期間は博士前期課程2年間、博士後期課程3年間とします。ただし長期履修生にあっては、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は該当者全員とします。
- ⑤外国人留学生のうち文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

(2) 第二種奨学生

- ①東京農業大学学部卒業者であって大学院に入学した者とします。
- ②奨学生額は入学時入学金を免除することによって支給します。
- ③奨学生の採用人数は該当者全員とします。

(3) 第三種奨学生

- ①博士前期課程の私費外国人留学生で、成績及び人物優秀かつ経済的に修学困難な者とし、東京農業大学学部に4年以上在学して卒業した者又は海外協定校を卒業した者を対象とします。
- ②奨学生額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ③奨学生支給期間は博士前期課程及び修士課程2年間とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は当該専攻の入学定員の2分の1以内とします。
- ⑤文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

◎東京農業大学大学院／学びて後足らざるを知る奨学生

- ①東京農業大学学部に4年以上在学(編入学者は東京農業大学短期大学部の在学期間を含む。)して卒業し、本学大学院博士前期課程及び修士課程を修了し、本学大学院博士後期課程に在学している者とします。
- ②本奨学生の趣旨を理解し、本学の実学教育研究の担い手となる教員や研究者等の後継者を志す者とします。
- ③人物及び学業成績が優秀な者とします。
- ④奨学生額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を免除することによって支給します。
- ⑤奨学生支給期間は3年間を限度とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間を限度とします。

※奨学生の注意事項

- ①奨学生は休学・退学する、又は除籍されると資格を失うので注意してください。
- ②奨学生の継続は、毎年審査のうえ、決定します。成績不良の者・素行不良の者・懲戒処分を受けた者は資格を失うことがあるので注意してください。
- ③第一種奨学生と第二種奨学生は重複することができます。

詳細は、大学院ホームページ「学費・奨学生制度 <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/life/entrance-fee/>」を確認してください。

12. 長期履修制度

本学では、職業等に従事しながら学習を希望する者等に対する学習機会の一層の拡大を行うことで、社会人学生等の入学促進と大学院教育及び研究の多様化を図るために長期履修制度を実施しています。希望者は、あらかじめ指導教員に相談した上で、出願書類と併せて長期履修関連書類を出願期間内に提出してください。長期履修関連書類は学務課又は厚木学生教務課で配布していますので、事前に問合せてください。

※出願書類提出時以外は申請できません。

(1) 出願資格

下記のいずれかに該当する者とします。

- ① 企業等の常勤の職員又は自ら事業を行っている者
- ② 協定締結されたダブルディグリープログラムを希望する者
- ③ 他機関が実施する事業・プログラムへの参加を希望する者
- ④ その他、長期履修することが必要と認められた者

(2) 履修期間 **※一旦許可された履修期間は変更できません。**

博士前期課程：4年以内

博士後期課程：6年以内

(3) 学費

標準修業年限分の学納金に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付となります。

13. 出願資格認定

本学大学院入学試験に出願する前に、出願資格を有しているかを p. 14 で必ず確認してください。出願資格のうち、博士前期課程の(9)(10)(11)、博士後期課程の(6)により出願を希望する場合は、事前に出願資格認定を受けてください。出願資格 (1)～(8) に該当する人は認定を受ける必要はありません。

【博士前期課程】(p. 14 より抜粋)

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】(p. 14 より抜粋)

- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

出願資格認定を希望する場合は、希望する指導（准）教授の内諾を得たうえで、学務課又は厚木学生教務課に申し出て書類を受け取り、提出書類を期間内に提出してください。

なお、出願資格認定試験は専攻ごとに実施しますので、試験日等は専攻に問合させてください。

(1) 提出書類

- 1) 出願資格認定試験申込書（本学所定様式）
- 2) 履歴書（本学所定様式）
- 3) 最終学歴証明書
- 4) 最終学歴成績証明書
- 5) 返信用封筒（資格認定結果通知送付先宛名を記載し、返信用切手84円分を貼付のこと）

※博士後期課程志願者のみ 6)～8)も提出

- 6) 研究計画書（本学所定様式）
- 7) 研究業績書（本学所定様式）
- 8) 推薦書（本学所定様式）

※「最終学歴証明書（卒業証明書）」「最終学歴成績証明書」は書類受付日前3ヵ月以内に発行されたものに限ります。

※外国の大学・大学院で発行された証明書についてはp.17を確認してください。

※書類受理後はいかなる事情があっても書類の変更は受け付けません。

(2) 出願書類の提出について

市販の角型2号（240×332ミリ）封筒の表に本学所定様式『出願用封筒貼付ラベル』を貼付して、**簡易書留郵便・速達**で郵送（最終日必着）、もしくは学務課又は厚木学生教務課へ、以下の期間に提出してください。

2023年10月3日（火）～5日（木）最終日必着

(3) 資格認定結果の通知

結果については、申請者宛に郵送により通知します。

「大学院出願資格認定書」は出願の際に必要となりますので、大切に保管してください。

14. 個人情報保護について

本学では個人情報の取扱いについて、「学校法人東京農業大学個人情報保護方針」及び「学校法人東京農業大学個人情報保護規程」に則り、適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。また、本学で取り扱う個人情報は、教育研究及び学生の支援等に必要な業務を遂行するため利用し、当該の目的以外での使用はしません。なお、詳細については東京農業大学ホームページをご参照ください。

—問い合わせ—

業務は大学指定の休日を除く月～金の8:30～17:00

＜世田谷キャンパス＞

学務課

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

☎ 03-5477-2240

＜厚木キャンパス＞

学生教務課

〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737

☎ 046-270-6225